

令和元年度 市民体育祭サッカーの部
「Mリーグカップ」2019開催要項

大会趣旨	上天草市におけるサッカーの普及を目指し、普段本格的にサッカーをやっていない市民にもサッカーを楽しんでもらうことを目的とするとともに、世代間の交流、市民の体力の増進、健康づくり、サッカーを通して親睦を深めることを目的とする。また同時に、市サッカー協会の活動に理解を深めてもらい協会の更なる発展を図る。
開催日時	令和01年10月27日(日)雨天決行 午前9時00分開会
開催場所	上天草市松島総合運動公園球技場
参加資格	中学生以上で、市内在住及び出身者、または市内に勤務する者で編成する6人以上のチーム。
種別	A(アスリート)クラスとB(ビギナー)クラスとする。クラスの基準は下記のとおりとし、申込者の申告制とする。ただし大会事務局よりクラスの変更をお願いすることもある。 A: 経験者で編成するチーム、勝ちにこだわるチーム、高校生で現役選手を含むチーム、前回大会ベスト4のチームなど B: 主に初心者・女性・40歳以上などで編成したチーム、勝負よりもサッカーを楽しみたいチーム、打ち上げが目的のチームなど。 なお、Aクラスの参加が少ない場合は、A・B混合で試合を実施する場合がある。
参加費	(1) 大会運営費として1チーム4,000円。ただし中学生のみ(監督等を除く)で参加するチームは3,000円とする。なお、上天草市サッカー協会の登録チームは一般3,000円、中学生2,000円とする。 (2) 抽選後のキャンセルの場合、参加料は返還しない。
申込方法	別紙の参加申込書にて既定の大会申込み先へ申し込む。
申込締切	令和元年10月18日(金)
競技規則	(1) 使用するルールは、熊本県6人制サッカー競技規則のほか、別に定める大会規則で行う。大会規則及び6人制サッカー競技規則に定めのない事項は日本サッカー協会の2017/2018サッカー競技規則を適用する。 (2) この大会要項に違反したチームは失格とする。
運営要領	(1) 参加チーム数を考慮してトーナメント方式、またはリーグ戦、リンク戦の予選を交えた方法で行う。 (2) リーグ戦またはリンク戦を行う場合は勝ち点制とし、勝ち3点、引分け1点、負け0点を付与し合計勝ち点で順位を決定する。 (3) ブロック内で勝ち点が同じの場合は、直接対決で勝っているチームを上位とし、直接対決で順位がつけられない場合は得失点差で判断する。なおそれでも同じ場合は該当チームによるPK戦で順位を決める。 (4) トーナメント戦で同点の場合、準決勝までは即PK戦とし、決勝は10分の延長戦を行いなお同点の場合はPK戦で勝敗を決定する。なお、順位決定のPK戦は3名ずつで行う。 (5) 不戦敗したチーム、副審を務めなかったチーム、失格したチームは予選の順位にかかわらず、決勝トーナメントには出場できない。 (6) 予選ブロックで1位のチームが決勝トーナメント進出を辞退または棄権した場合、及び要項により決勝トーナメントに出場できない場合は、

そのブロックの次順のチームが出場する。

- (7) 運営要領については、参加チーム数の状況に応じて特別ルールを適用する場合がある。

抽選組合	組み合わせは事務局抽選とする。抽選結果は上天草市サッカー協会ホームページ上で公開するほか、申込者に連絡するので、FAXまたはメールアドレスを申込書に明記しておくこと。
審判	主審は本協会所属の有資格者または協会が依頼した有資格審判者が行うが、副審は各チームから出すこととする。ただし副審の審判資格は必要ない。
服装用具	ユニホームのないチームは、主催者からのピブスを着用する。また、危険性のないシューズを使用することとし、キーパーは手袋を着用すること。
表彰	各クラスの優勝及び準優勝チームには表彰状を授与し、Aクラスの優勝チームには持ち回りの優勝杯(Mリーグカップ)を授与する。なお、個人賞として特別賞等の賞を設ける場合がある。
その他	(1) 第3試合までのチームは開会式に必ず参加すること。ただし、第4試合以降のチームも代表者会議を行うので、代表者は必ず参加すること。 (2) 大会中の事故やケガには主催者は一切責任を負わないので各チームで対応すること (3) 申込書に記載された個人情報、上天草市サッカー協会個人情報取り扱い指針に基づき取り扱い、大会要項の選手名簿に記載することを了承したものとする。 (4) 大会本部で撮影した写真は、協会のホームページ等広報資料として使用することがあり、大会中の関係者の肖像権については、大会申込時にその使用を承諾したものとする。ただしどうしても掲載してもらいたくない場合は、事前に申し出ること。
大会役員	大会会長：平田実(市サッカー協会会長) 担当部会長：前方正広(市サッカー協会専務理理事) 審判委員長：碓憲樹(市サッカー協会審判部会理事) 競技役員：島崎克明(市サッカー協会社会人部会理事) 競技役員：米田耕一郎(市サッカー協会社会人部会理事) 競技役員：(市サッカー協会中学部会理事)

大会規則及び熊本県6人制サッカー規則要約

[大会規則]

選手登録	選手の登録は何人でもよい。ただし、他のチームとの二重登録は認めない。
選手交代	選手交代はいつでも（プレー中可）何人でもかまわず、一度交代した選手も再度交代できる。装具の確認は試合前に受けること。
試合成立	試合成立人数は4人とする。3人以下の場合は不戦敗とする。
試合時間	試合時間は10分ハーフの20分とし、ハーフタイムは5分とする。
警告退場	イエローカード（警告）の取り扱いは、同一試合2枚で退場、累積2枚で次の試合出場停止。退場した者は次の試合の出場停止。
ハンデ	女性が出場するチームには、ハーフ出場1人につき1点をハンデとして加点する。但し、女性と男性で途中交代する場合は、女性が試合時間の半分以上出場した場合に限り、女性同士で交代する場合は交代人数に関係なく1試合で2点加点する（フィールドに女性が出場している時間で換算する）。 女性、及び50歳以上の男性が得点した場合は1ゴールにつき2得点とする。
審判	審判は主審1名、副審2名の3人制で行う。

[熊本県6人制サッカー規則要約](11人制との相違点等)

競技場	60m×40m。ゴールの大きさは一般のサッカーと同じ。 ペナルティエリアはゴールの中心から半径15mの半円内。 ゴールエリアはない。
競技者の数	競技者が4人未満の場合は、試合は行わない。
オフサイド	オフサイドは適用しない。
得点	ペナルティエリア（半円）の中からシュートしゴールしたもの、ペナルティエリア内のキーパー以外の者に触れてゴールインしたものが得点となる。ただし、コーナーキックからの直接ゴールは得点とする。 また、オウンゴールはボールの位置に関係なく相手方の得点となる。
キーパー	ゴールキーパーは手でキャッチしたボールを蹴ることはできない。スローイングのみとなる。（ドリブルも不可） ゴールキックはゴールライン上にボールを置いて蹴る。
特別な状況	ペナルティエリア内で与えられた守備側チームのフリーキックは、ペナルティエリア内の任意の地点から行う。 ペナルティエリア内で与えられた攻撃側チームの間接フリーキックは、違反の起きた地点がゴールラインから9.15m以内であればペナルティエリア内でゴールラインと平行なペナルティーマークの延長上で行う。 ペナルティエリア内でプレーを一時的に停止したのちに試合を再開する場合、ドロップボールは、プレーを停止した時にボールのあった位置に最も近いペナルティエリアライン上で行う。